

JAPAN
FOUNDATION

國際交流基金

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は
世界の全地域において、
総合的に国際文化交流事業を実施する
日本で唯一の専門機関です。
世界の人々と日本人の間で
お互いの理解を深めるため
さまざまな企画や情報提供を通じて
人と人との交流をつくりだしています。

沿革

1972年 国際交流基金（The Japan Foundation）設立

1989年 日本語国際センター（埼玉県）設置

1991年 日米センター（Center for Global Partnership）設置

1997年 関西国際センター（大阪府）設置

2003年 独立行政法人国際交流基金となる

2006年 日中交流センター設置

2014年 アジアセンター設置

国際交流基金の設立目的は2002年（平成14年）に定められた以下の法律に則ったものです。

独立行政法人国際交流基金法 第3条

「独立行政法人国際交流基金は、国際文化交流事業を総合的かつ効率的に行うことにより、我が国に対する諸外国の理解を深め、国際相互理解を増進し、及び文化その他の分野において世界に貢献し、もって良好な国際環境の整備並びに我が国の調和ある対外関係の維持及び発展に寄与することを目的とする」

世界の人と対話するための 3つのフィールド

文化芸術交流

芸術や暮らしの中で生まれた日本の価値観と、
世界の価値観が触れ合う機会をつくりだす

言語の違いを超えた感動は、日本への興味と共感を生み、理解を促す源泉となります。国際交流基金は、そのような源泉を生み出す場の提供を目指し、美術、音楽、演劇、文学、映画などの芸術から、食、ファッション等の生活文化にいたるまで、日本の文化芸術を紹介し、文化芸術分野のグローバルな交流をプロデュースし、各分野のネットワークづくりを支援しています。



海外における日本語教育

日本語を理解する人を増やすこと、
それは世界に日本の理解者を増やしていくこと

海外の人たちに日本語を知ってもらうことは、日本への親しみや理解を世界に広げることにつながります。国際交流基金は日本語教育が世界で活発に行われるよう、全世界規模での日本語能力試験（JLPT）の実施や教材開発、海外日本語講座の展開、日本語教育の専門家の海外への派遣、海外で教える教師の国内研修など、さまざまな側面から日本語教育を支援しています。



日本研究・知的交流

日本への深い理解と世界の「知」への関心
ふたつが交錯するところに世界共通の課題を解く鍵がある

海外での日本研究を支援すること、遠い国の社会や文化への理解を日本の中で広げていくことは、相互理解を深め、心をつなげていくことにつながります。国際交流基金は深い日本理解と人的ネットワークの形成を促進するため、海外の日本研究者を支援し、また国際的に著名な学者を日本に招くなど、学術や研究を通じて国際交流を積極的に推し進めています。



国際交流基金は文化芸術交流、海外における日本語教育、日本研究・知的交流の3つの異なるフィールドで事業を展開しています。

文化交流にかかわる人を バックアップする 3つのアプローチ

国際交流基金は、文化の各分野で活動する人々が何を必要としているのかを見極め、いかに良い環境を提供できるかを考えます。機会を創出し、活動をサポートし、継続的な交流が可能となるような環境づくりを行います。



PLAN

企画する・主催する

国際交流基金は、展覧会や舞台公演、国際会議、海外の文化人の招へいなど、文化交流が行われるための機会を、自ら企画し、実現しています。

- 国際的な展覧会や共同制作による舞台公演を企画する
- 生け花や日本料理など、日本の生活文化を海外でデモンストラーションする
- グローバルな課題解決のための国際会議を開催する
- 海外の研究者・文化人・教師など、日本と世界の架け橋となる人を招へいする…等



SUPPORT

助成する・支援する

文化交流のために活動する人々に、資金の一部を提供したり、多くの人の活動を容易にするツール、機会や場所を提供するなど、文化交流活動を側面から支えます。

- 海外で展覧会や公演を行う人へ資金を援助する
- 市民、NPOが海外で交流する事業に助成する
- 海外の日本語教師養成事業を支援する
- 日本研究を行う大学や研究機関へ資金を助成する…等



NETWORK・ INFORMATION

ネットワークをつくる・交流の土台をつくる

文化交流活動を行う人にとって必要な情報や素材を収集したり、人と人のネットワークをつくるなど、国際文化交流の土台づくりとすそ野の拡大を継続的に行っていきます。

- 日本の舞台関係者のインタビューをデータベースとして公開
- 日本の書籍や映画を英語で紹介する冊子を定期的に発行
- 日本語を学ぶ人の日本語能力を測定し認定する日本語能力試験（JLPT）の実施
- 全世界で使えるインターネット上の日本語教材の開発
- 日本語の教え方、学び方、学習の評価の仕方を考えるためのツール「JF日本語教育スタンダード」の開発・普及
- 日本を研究する学者たちのネットワークづくり…等

世界に広がる 国際交流基金の 活動拠点

国際交流基金は21か国に22の拠点と、国内に3つの附属機関・支部を設けており、これらの拠点を足がかりに、アジア、大洋州、米州、欧州、中東、アフリカ全域で活動を展開しています。国際交流基金のネットワークはあなたが旅したことのある都市へ、そして名前も知らない街へとひろがっています。

欧州・中東・アフリカ

① イタリア	ローマ日本文化会館	Tel.39-06-322-4754
② ドイツ	ケルン日本文化会館	Tel.49-221-9405580
③ フランス	パリ日本文化会館	Tel.33-1-44-37-95-00
④ 英国	ロンドン日本文化センター	Tel.44-20-7436-6695
⑤ スペイン	マドリード日本文化センター	Tel.34-91-310-1538
⑥ ハンガリー	ブダペスト日本文化センター	Tel.36-1-214-0775
⑦ ロシア	全ロシア国立外国文献図書館「国際交流基金」文化事業部 (モスクワ日本文化センター)	Tel.7-495-626-5583
⑧ エジプト	カイロ日本文化センター	Tel.20-2-2794-9431

米州

⑱ カナダ	トロント日本文化センター	Tel.1-416-966-1600
⑲ 米国	ニューヨーク日本文化センター ニューヨーク日米センター	Tel.1-212-489-0299 Tel.1-212-489-1255
⑳	ロサンゼルス日本文化センター	Tel.1-323-761-7510
㉑ メキシコ	メキシコ日本文化センター	Tel.52-55-5254-8506
㉒ ブラジル	サンパウロ日本文化センター	Tel.55-11-3141-0110



アジア・大洋州

⑨ 韓国	ソウル日本文化センター	Tel.82-2-397-2820
⑩ 中国	北京日本文化センター	Tel.86-10-8567-9511
⑪ インドネシア	ジャカルタ日本文化センター	Tel.62-21-520-1266
⑫ タイ	バンコク日本文化センター	Tel.66-2-260-8560
⑬ フィリピン	マニラ日本文化センター	Tel.63-2-811-6155
⑭ マレーシア	クアラルンプール日本文化センター	Tel.60-3-2284-6228
⑮ インド	ニューデリー日本文化センター	Tel.91-11-2644-2967
⑯ オーストラリア	シドニー日本文化センター	Tel.61-2-8239-0055
⑰ ベトナム	ベトナム日本文化交流センター	Tel.84-4-3944-7419

日本

● 本部 (東京)	Tel.03-5369-6075
● 日本語国際センター (埼玉)	Tel.048-834-1180
● 関西国際センター (大阪)	Tel.072-490-2600
● 京都支部 (京都)	Tel.075-762-1136

※国際交流基金は、以上の拠点や支部、附属機関だけではなく、世界各国の在外公館、日本語教育機関や文化交流機関等と緊密に連携をとりながら、グローバルに活動を展開しています。

過去40年の活動から 時代の顔や ざわめきがよみがえる。

1970年代

- 1973 国際交流基金フェロシップ開始
- 1973 国際交流基金賞を創設し、初めて授賞を行う
- 1973 海外日本語教師研修会開始
- 1974 機関誌『国際交流』を創刊
- 1974 『日本研究基本書目 An Introductory Bibliography for Japanese Studies』を創刊
- 1975 初の日本語教育機関調査、海外の日本語学習者数は約7万8,000人
- 1975 中東で初めて能楽公演を実施
- 1977 文化人類学者クロード・レヴィ=ストロース(フランス)招へい
- 1978 初の大型スポーツ派遣事業、サッカーチームを東南アジア諸国へ巡回派遣。20万人を動員
- 1979 中国との初の政府間交流事業として歌舞伎公演を実施



特別客員文化人招へい開始、フランスのアンドレ・マルロー元文化相来日(1974)



アジア伝統芸能の交流(ATPA)を開始、第1回としてカリंगा族(フィリピン)の演奏等(1976)



英国で「江戸大美術展」(ジャパン・イン・ロンドンの中心企画)開催、52万人が来場(1981)



海外日本語講師招へい研修会における研修風景(1981)

1980年代

- 1983 テレビ日本語講座・初級Iスキット「ヤンさんと日本の人々」完成。海外での放送開始
- 1984 海外で初の日本語能力試験を実施、14カ国19都市、4,473名が受験
- 1986 『基礎日本語学習辞典(英語版)』刊行、以後、順次各国語で発行
- 1986 「前衛芸術の日本1910-1970」展(フランス)開催、15万人が来場

1990年代

- 1991 安倍フェロシッププログラム開始
- 1993 『Japanese Book News』創刊

日本がオリンピックや万博の開催を経験して間もない1972年、国際交流基金は設立されました。以来、私たちは国内外でさまざまな文化事業を主催し、支え、日本語を海外に広め、また「世界の知」と「日本の知」が触れ合う機会をつくってきました。

※表中の「年」表記は「年度」を意味しています。

- 1994 三大伝統演劇(能、歌舞伎、文楽)「俊寛」を欧州で上演
- 1995 「アジアのモダニズム—その多様な展開：インドネシア、フィリピン、タイ」展開催
- 1996 ヴェネチア・ビエンナーレ(第6回建築展)で磯崎新コミッションの日本館が金獅子賞受賞
- 1996 アジア・リーダーシップ・フェロプログラム開始
- 1998 司馬遼太郎著作の英語訳『The Last Shogun: The Life of Tokugawa Yoshinobu(最後の将軍)』刊行



アセアン設立25周年を記念し「東南アジア祭'92」開催(1992)



アジア6カ国共同制作の多言語演劇「リア」上演(1997)

2000年代

- 2001 「横浜トリエンナーレ 2001」(第1回)開催
- 2002 日中韓次世代フォーラム開始
- 2005 アフガニスタンの陶工を招へい
- 2006 国際シンポジウム「春樹をめぐる冒険—世界は村上文学をどう読むか」開催
- 2006 中国高校生の招へい事業を開始
- 2006 ハリケーン・カトリーナ災害復興協力のための日米対話プロジェクトを開始
- 2006 アジア5カ国から若手デザイナー招へい、日本の学生と合同ファッションショー開催
- 2007 アチュエの子どもたちと創る演劇ワークショップを実施(インドネシア)
- 2009 ロシアで初めて本格的な文楽公演を開催
- 2009 日本語学習者数が360万人を上回る
- 2010 「JF日本語教育スタンダード 2010」発表



草間彌生「ナルシス・シー」2001(横浜トリエンナーレ2001) ©黒川未来夫



日本語学習映像教材「エリンが挑戦!にほんごできます。」放映開始(2006)

国際交流基金は、 あなたと一緒に 動きます。

国内外で、さまざまなタイプの文化活動にかかわる個人や組織をサポートするために、国際交流基金は多くのプログラムを展開しています。中にはあなたが活用できるものもあるはず。当基金の情報をより深く知っていただくことで、あなたの活動の幅が広がり、より豊かになるかもしれません。

国際交流基金HP <http://www.jpf.go.jp/>

もしも、あなたが芸術文化活動に関心があったら

アーティストやNPOの国際的な文化芸術活動を支援しています

→「公募プログラムガイドライン」を配布しています

→ 国際交流基金 HP → 助成を受けたい

アーティスト・イン・レジデンスについての情報があります

→ AIR_J <http://air-j.info/>

国内外の舞台関係の最新情報が日英2か国語で読めます

→ Performing Arts Network Japan <http://performingarts.jp/>

もしも、あなたが海外の日本語教育に関心があったら

国際交流基金 HPには海外に派遣する日本語教育専門家の公募情報があります

→ 国際交流基金 HP → 国際交流基金を知りたい → 採用情報

教材の作成に自由に活用できる日本語教育用素材が手に入ります

→ みんなの教材サイト <http://minnanokyozaei.jp/>

日本語教育の現場や教授法を紹介する書籍を発行しています

→ JFIC ショップで購入できます

→ 国際交流基金 HP → 刊行物・グッズのご案内

もしも、あなたが日本語を学んでいたら

日本語能力試験 (JLPT) の情報を掲載しています

→ 日本語能力試験 (JLPT) <http://www.jlpt.jp/>

日本語をインターネットで学べます

→ 「まるごと 日本の言葉と文化 / まるごと + (まるごとプラス)」

<https://marugotoweb.jp/>

→ WEB版「エリンが挑戦！にほんごできます。」

<https://www.erin.ne.jp/>

→ 日本語でケアナビ <http://nihongodecarenavi.jp/>

→ アニメ・マンガの日本語 <http://www.anime-manga.jp/>

もしも、あなたが研究者なら

国際会議や国・分野を越えた研究者間のネットワークづくりに対して助成しています

→ 国際交流基金HP → 助成を受けたい → 日本研究・知的交流

海外の日本研究者等に対してフェローシップを提供しています

→ 「公募プログラムガイドライン」を配布しています

→ 国際交流基金HP → 助成を受けたい → 日本研究フェローシップ

日本に関して書かれた外国語の文献を揃えています

→ JFIC ライブラリーで貸し出しを行っています

もしも、国際交流をサポートしたいと思ったら

企業とのCSR活動を通じたパートナーシップを促進しています

→ 国際交流基金HP → 国際交流基金を知りたい → 寄附制度・CSR

国際文化交流活動をご支援いただくためのご寄附を受け入れています

→ 国際交流基金HP → 国際交流基金を知りたい → 寄附制度・CSR

国際交流基金の活動をもっと知りたかったら

国際交流専門誌「をちこち」のウェブマガジンにさまざまな記事が掲載されています

→ をちこち Magazine <http://www.wochikochi.jp/>

最新情報、おすすめイベントを伝えるメールマガジンを発行しています

→ 国際交流基金HP → メールマガジン

Facebookやツイッターでも情報を発信しています

→ Facebook TheJapanfoundation

→ ツイッター @japanfoundation

国際交流基金 本部

本部機能とともに、ライブラリーとイベントスペースを併設。
ここからさまざまな交流が始まります。

総務部、経理部、企画部、文化事業部、映像事業部、日中交流センター、日本語事業部、日本語試験センター、日本研究・知的交流部、日米センター、青少年交流室、アジアセンター、コミュニケーションセンター、監査室が置かれています。

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1

コミュニケーションセンター Tel. 03-5369-6075 Fax.03-5369-6044

総務部 総務課 Tel. 03-5369-6051 Fax.03-5369-6031

国際交流基金ホームページ <http://www.jpjf.go.jp/>

※事業内容を含む一般的な照会と広報関係は、コミュニケーションセンターへご連絡ください。

JFIC (Japan Foundation Infomation Center、ジェイフィック)

本部の1階・2階の「JFIC」は、ライブラリー、ホールさくら(約80人収容)、スペースけやき、ショップを備えた、国際交流のための情報発信拠点で、一般の利用者に開放されています。講演会やワークショップなどイベントのご案内を、随時、国際交流基金ホームページに掲載しています。

JFIC ライブラリー

JFIC ライブラリーでは、以下のような蔵書約37,000冊が収蔵されています。

- 国際文化交流に関する図書、雑誌
 - 国際交流基金の刊物や、新聞雑誌等のクリッピング等
 - 日本文化についての外国語の図書、雑誌、映像資料、日本研究の文献や映像資料
 - オンラインジャーナル、雑誌記事検索データベース等
- ライブラリーは誰でも利用できます。資料の貸し出しや、文献や情報を探すためのサポートを行っています。



JFIC ライブラリーの開館日時

月曜日～金曜日 10:00—19:00

JFIC ショップは 18:00 まで

休館日:

土・日曜日/祝日/毎月最終日/年末年始/蔵書点検期間

JFIC ライブラリー

Tel. 03-5369-6086

Fax.03-5369-6048

日本語国際センター

海外の日本語教師を支える総合的な専門施設

埼玉県さいたま市に1989年に設置された日本語教育者のための研修施設です。海外で活躍する日本語教師のための研修プログラム、将来、各国の日本語教育界のリーダーとなる人材養成、教材やカリキュラム等の開発、ウェブサイト等を通じた情報提供等を行っています。設立以来20年間で、世界各国から10,000名以上の方が、研修プログラムに参加しました。



〒330-0074

埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-36

代表 : Tel. 048-834-1180

Fax.048-834-1170

図書館 : Tel. 048-834-1185

Fax.048-834-1588

関西国際センター

海外の日本語学習支援のための日本語教育専門施設

大阪府泉南郡田尻町に1997年に設置された日本語学習者の研修センターです。外国の外交官・公務員、研究者向けの専門日本語研修や、海外の日本語学習者のなかでも優秀な学生を受け入れる訪日研修の実施で、年間500名近くの研修生が利用しています。インターネットを使った教材開発や、センター周辺地域の方々との国際交流も推進しています。



〒598-0093

大阪府泉南郡田尻町りんくうポート北3-14

代表 : Tel. 072-490-2600

Fax.072-490-2800

図書館 : Tel. 072-490-2605

Fax.072-490-2805

京都支部

関西圏の国際交流の担い手と連携し、日本文化を発信

地域のネットワークを生かし、海外からの留学生・研究者を対象とした日本文化紹介活動を進めています。和菓子の手作り体験や酒造りの工程見学、錦織物の工房訪問などの体験型プログラムや、能・狂言の舞台公演、日本映画の上映会などのプログラムを通じ日本文化と出会う機会を提供しています。また、国際交流基金が招へいする日本研究者による講演会、懇談会などを通じて、国際交流に関心をもつ市民との対話や交流を進めています。

〒606-8436

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1 京都市国際交流会館3階

代表 : Tel.075-762-1136 Fax.075-762-1137

The background of the entire page is a vibrant red color with a repeating pattern of stylized, interlocking circular shapes. These shapes are cut out of a textured paper, creating a lace-like effect. The lighting is soft and even, highlighting the texture of the paper and the sharp edges of the cutouts.

国際交流基金 本部

<http://www.jpf.go.jp/>

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

コミュニケーションセンター

Tel.03-5369-6075 Fax.03-5369-6044

2015.02